白鳥のみずうみがグラントワにやってきた

白鳥の湖 新聞

平せい30年7月
2018年
つわの小学校
永田 りこ

二〇十八年七月六日(金)島根県芸術文化センター「グラントワ大ホール」で東京バレエ団の「白鳥の湖」の公えんがありました。

しゅ役のオデットひめとオディールをえんじたのは、上野 水香さん。しゅ役のジークフリート王子は、つかもと だんさんです。

公えんの前日と当日に小学生と中学生の十二人で東京バレエ団のみなさんにしゅざいをさせていただきました。

前日には、ぶたいかんとくさん、げいしゅつかんとくさん、いしょうさん、ヘアメイクさん、しき者さん、にお話を聞きました。

こんなにたくさんの人がぶたいのそでや見えないところで一人一人がダンサーたちをささえていることにおどろきました。

「みんなで一つのぶたいを作っている一人では何もできない。」とげいしゅつかんとくさんが教えてくれました。

このいしょうは白鳥のものです

いしょうさんにちゅう目！

色いろな色のいしょうがあります。

見学させてもらった楽屋やぶたいうらにはいしょうがたくさん用意してありました。全ぶで三百ちゃくほどあります。わたしが三～四人入りそうな大きな木ばこがたくさんあってその中にいしょうを入れてはこんでいるそうです。ダンサーに気もちよくきてもらうことを心がけているそうです。

わたしも、いつか白鳥の湖をおどってみたいです。今回はさんちょうしてうまくしつ問ができませんでした。またチャンスがあればつぎはきんちょうせずいろんな話を聞きたいです。

ながた りこ